

府中東高校 2024年度 論理・表現 I 年間授業計画

教科：(外国語)科目：(論理・表現 I) 対象：(第1学年)

科目担当者：(1・2組:尾崎 高田 永田)(3・4組:高田 尾崎 永田)(5・6組:高田 尾崎 藤井)

(7・8組:高田 尾崎 永田)

使用教科書:be Clear English Logic and Expression I (いいずな書店)

使用教材:be Clear Essential Grammar Book (いいずな書店)

教科の目標

【知識及び技能】

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目の目標

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習取り組む態度】
実際に英語を用いた言語活動を通して、三つの領域（話すこと（やりとり）、話すこと（発表）、書くこと）の資質・能力を、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができるようにする。	具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現することを通して、日常的な話題や社会的な話題について、情報や自分の考えをまとめ、適切な表現で話したり書いたり、伝え合う力を身に付けることができるようにする。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	学習内容	単元の具体的な指導目標 と評価規準	評価方法			予定 時数
			知	思	主	
1 学 期	Lesson 1	<ul style="list-style-type: none"> ・現在形、過去形、進行形の用法が理解できる（知・思・主） ・現在形、過去形、進行形を使って自分や周りの人などを表現できる（知・思・主） ・あこがれの人について、わかりやすく的確に紹介しようとする（知・思・主） 	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト プリント等 課題の提出 授業中の 取り組み	3
	Lesson 2	<ul style="list-style-type: none"> ・未来を表すさまざまな表現の用法とその違いが理解できる（知・思・主） ・未来を表す表現を使って、これから起こることなどを表現できる（知・思・主） ・外国からきたお客さんと過ごす週末の予定について、積極的に伝えようとする（知・思・主） 	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト プリント等 課題の提出 授業中の 取り組み	3
	Lesson 3	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな助動詞の用法が理解できる（知・思・主） ・さまざまな助動詞を使って、自分ができるとことなどを表現できる（知・思・主） ・富士登山の際の注意事項について、積極的に発表しようとする（知・思・主） 	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト プリント等 課題の提出 授業中の 取り組み	3
	Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了、現在進行形、過去完了形の用法が理解できる（知・思・主） ・さまざまな完了形を使って、自分の経験などを表現できる（知・思・主） ・これまで経験したことについて友人に尋ね、積極的に紹介しようとする（知・思・主） 	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト プリント等 課題の提出 授業中の 取り組み	6
	Lesson 5	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな形の受動態の用法が理解できる（知・思・主） ・さまざまな形の受動態を使って、身の回りのものなどを表現できる（知・思・主） ・好きな日本の食べ物について、積極的に紹介しようとする（知・思・主） 	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト プリント等 課題の提出 授業中の 取り組み	5

	学習内容	単元の具体的な指導目標 と評価規準	評価方法			予定 時数
			知	思	主	
2 学 期	Lesson 6	<ul style="list-style-type: none"> ・比較級と最上級の用法が理解できる（知・思・主） ・比較級や最上級を使って、身の回りのものなどを表現できる（知・思・主） ・ギネスブックに載せるための計画について、積極的に紹介しようとする（知・思・主） 	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト プリント等 課題の提出 授業中の 取り組み	6
	Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> ・同等比較や倍数比較など、さまざまな比較表現が理解できる（知・思・主） ・さまざまな比較表現を使って、身の回りのものなどを表現できる（知・思・主） ・食品ロスを減らす方法について、グラフの情報と合わせて発表しようとする（知・思・主） 	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト プリント等 課題の提出 授業中の 取り組み	8
	Lesson 8	<ul style="list-style-type: none"> ・動名詞のさまざまな用法とto不定詞の名詞的用法が理解できる（知・思・主） ・動名詞やto不定詞を使って、身の回りのものや将来の計画などを表現できる（知・思・主） ・災害への備えや発生時に必要なことについて、的確に紹介しようとする（知・思・主） 	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト プリント等 課題の提出 授業中の 取り組み	9
	Lesson 9	<ul style="list-style-type: none"> ・to不定詞の形容詞的用法と副詞的用法が理解できる（知・思・主） ・to不定詞を使って、活動の目的や事物の使用目的などを表現できる（知・思・主） ・留学先にもっていききたいおみやげについて、積極的に紹介しようとする（知・思・主） 	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト プリント等 課題の提出 授業中の 取り組み	9

	学習内容	単元の具体的な指導目標 と評価規準	評価方法			予定 時数
			知	思	主	
3 学 期	Lesson 10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在分詞と過去分詞の様々な用法が理解できる (知・思・主) ・ 現在分詞や過去分詞を使って、人や身の回りのものなどを詳しく表現できる (知・思・主) ・ 身の回りで起こったことについて、順序立てて説明しようとする (知・思・主) 	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト プリント等 課題の提出 授業中の 取り組み	9
	Lesson 11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係代名詞のさまざまな用法が理解できる (知・思・主) ・ 関係代名詞を使って、人や身の回りのものを詳しく表現できる (知・思・主) ・ オリジナル製品のアイデアについて、積極的に発表しようとする (知・思・主) 	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト プリント等 課題の提出 授業中の 取り組み	9
					合計	70